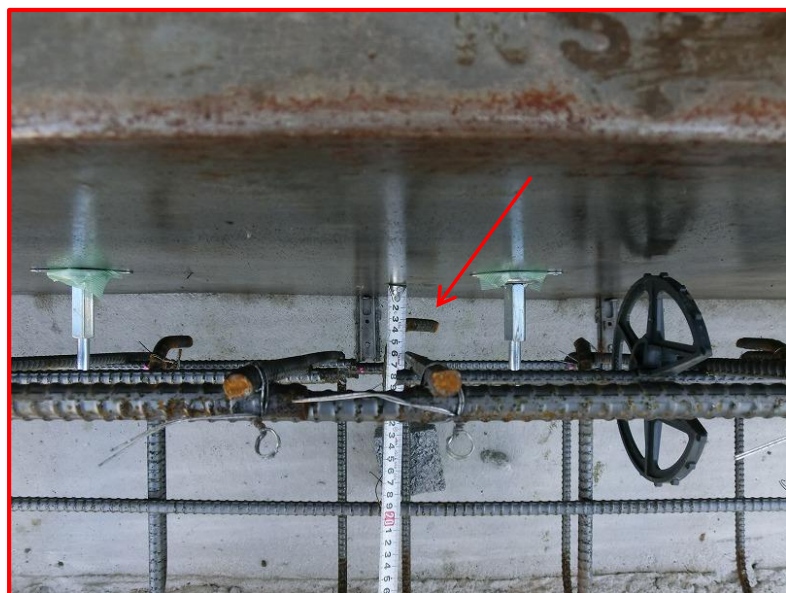




鉄筋の設置状況の確認

底盤、縦筋とも設計通り 200mm 間隔で設置されています。

※図面通りの施工が行われている箇所についてはその旨を確認した写真を提示いたします。

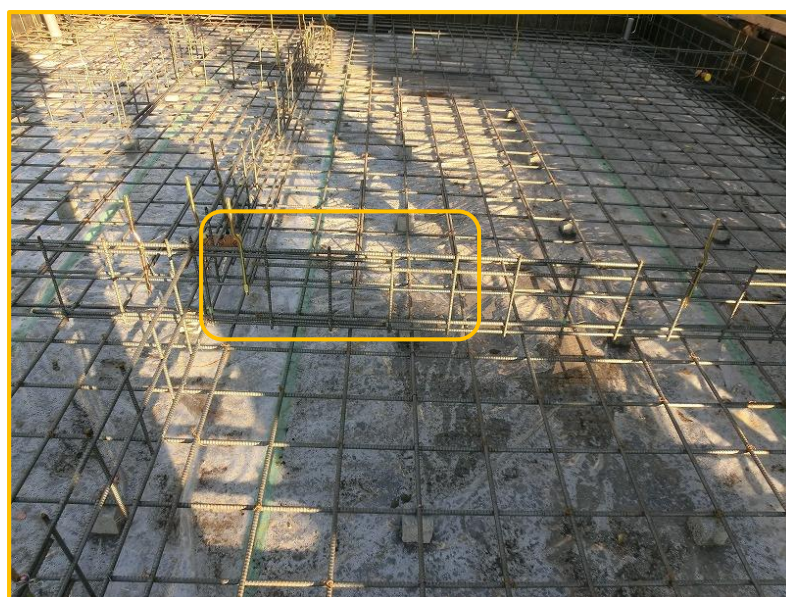


鉄筋のかぶり厚不足

鉄筋がさびないようにコンクリートで被覆して保護しますが、土に接する基礎の立ち上がり部分においては、40mm 以上確保することとされています。

南面洋室開口部の底盤筋の端部が型枠に近づきすぎてかぶり厚が確保されていませんので、修正を申し入れしております。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。



基礎立ち上がり開口位置の確認

四角内の配筋につきまして、配管を通すために開口を設ける予定であったかと思いますが、現状配筋が行われています。配管の有無や配管方法等につきまして、今一度お客様と確認を行ってください。

※現場で確認できない事項については、確認を行っていただく旨報告いたします。



接合補強金物取付状況の確認

筋かいを柱に固定するための筋かいプレートと梁と梁を接合する羽子板ボルト、柱と針を接合するコーナープレートとも正しく取り付けられていると見受けられました。

※図面通りの施工が行われている箇所についてはその旨を確認した写真を提示いたします。



コーナープレートの取り付け 2か所

土台端部にこのタイプのプレートを取り付けると、地震等で柱に引き抜き力が発生した際に、金物の引き抜き耐力が発現する前に土台が割裂してしまい性能を発揮することができないため、別タイプの金物等を使用するなどの修正の申し入れを行っております。上段の写真と同タイプの側面ではなく土台上面に取り付けるタイプのものに交換することです。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。



土台基礎間の基礎パッキン 6か所

床下通気を行うために基礎木戸と土台の間に基礎パッキンを挟み込んで通気の間隙を確保しますが、基礎パッキンは、柱の下、アンカーボルト部分等に設置する必要がありますが、柱の下に基礎パッキンが設置されていない箇所がありましたので、設置の申し入れを行っております。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。



外壁防水紙の施工状況確認

外壁の防水紙は、重ね幅も指定通りに確保されており、正しく施工されているものと見受けられました。サッシ下部にも先行の防水紙が設置されており、良好な施工と見受けられます。

※図面通りの施工が行われている箇所についてはその旨を確認した写真を提示いたします。



貫通部分周囲の防水未処理

2か所

バルコニーのオーバーフロー管が壁面を貫通している箇所で、配管周りの防水処理が行われていませんでしたので申し入れしております。

シーリングにて防水処理するとのことです。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。



防水紙の貼り付け順序

防水紙は、水が下に流れて排出されるように下から貼り重ねていきますが、この部分で逆転していますので、修正の申し入れを行っています。

上段の防水紙の下に新たに防水紙を差し込み丸内の防水紙にかぶせる形で正しい順番になるようにするとのことです。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。



壁断熱材の施工状況確認

壁断熱材は、設計通りのグラスウール 10k 100mmが使用されており、室内側に室内からの湿気を壁体内に入れないようにする防湿シートも設置されています。

※図面通りの施工が行われている箇所についてはその旨を確認した写真を提示いたします。



断熱材の不連続

バルコニー下部の天井面に断熱材は施工されていますが、室内に壁面が生じる段差の部分には断熱材が充填されていないことから、断熱材の連続性が途切れてしまっていますので縦の部分にも断熱材充填の申し入れをしております。

断熱材を充填するとのことです。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。



1階床排水立管立ち上がり周囲の隙間 3か所排水立管を立ち上げるに当たり、1階床の断熱材を切り抜いたあとの隙間が大きく残っています。断熱の欠損やすきま風の侵入孔となってしまうため、閉鎖の申し入れをしています。

現場発泡ウレタンを充填するとのことです。

※修正が必要と思われる箇所につきましては、指摘させていただき、修正方法等を現場監督に確認し報告いたします。

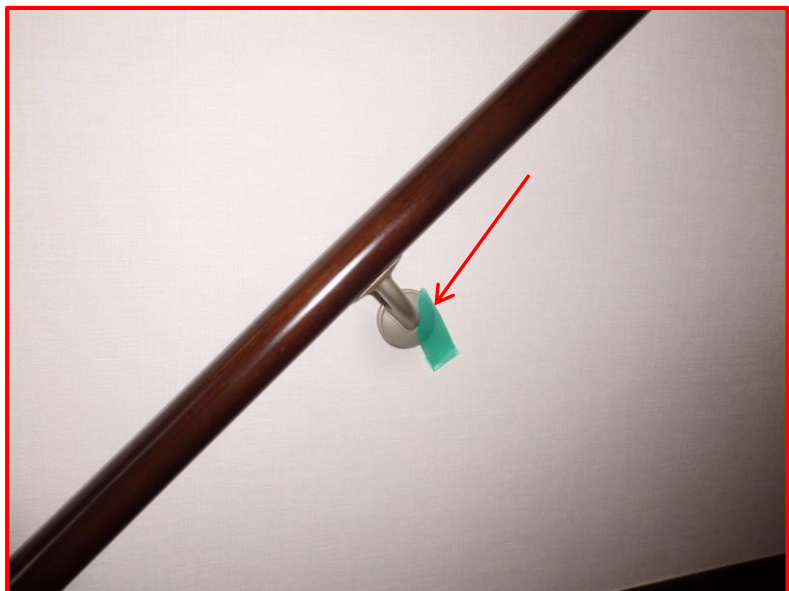


外壁材の剥離

キッチン開口部脇のサイディング取り付け釘部分に剥離が見受けられます。

タッチアップにて対応するとのことです。

※完了時の指摘については、引渡し時にお客様ご自身で修正が完了しているかご確認いただいた上で、お引渡しを受けて頂く形となります。



階段手すり受けの緩み 2か所

階段手すり受けの台座部分に緩みが見受けられます。最上部及び上部から2番目。

ビスの締めつけで固定するとのことです。

※完了時の指摘については、引渡し時にお客様ご自身で修正が完了しているかご確認いただいた上で、お引渡しを受けて頂く形となります。



バルコニー出入口サッシビスの不足

バルコニー出入口引き違い窓の冊子ビスが不足しています。

サッシビスを取り付けるとのことです。

※完了時の指摘については、引渡し時にお客様ご自身で修正が完了しているかご確認いただいた上で、お引渡しを受けて頂く形となります。



鉄筋のかぶり厚確保

平成 00 年 00 月 00 日報告書 NO.00 中段

40mm以上のかぶり厚が確保されています。

※次回の検査で確認できなくなってしまう指摘点につきましては施工者から施工写真の提出を受けて作成します。



1 階床排水管立ち上がり周囲の隙間の閉鎖

平成 00 年 00 月 00 日報告書 NO.00 下段

洗面所部分の排水管周りの隙間が閉鎖されています。

※次回の検査で確認できなくなってしまう指摘点につきましては施工者から施工写真の提出を受けて作成します。
指摘箇所数が多い場合は、可能な限り全箇所の写真を提出頂き、提示するようにしています。



貫通部分周囲の防水未処理

平成 00 年 00 月 00 日報告書 NO.00 中段

バルコニーのオーバーフロー管周囲にシーリングによる防水処理が行われています。

※次回の検査で確認できなくなってしまう指摘点につきましては施工者から施工写真の提出を受けて作成します。
指摘箇所数が多い場合は、可能な限り全箇所の写真を提出頂き、提示するようにしています。

